

新たな障がい者就労の場の創出について

～三宮に神戸ふれあい工房販売所を設けた就労継続支援B型事業所店がオープンします～

1. 店舗運営事業者の公募及び選定結果について

(1) 趣旨目的

神戸市の中心市街地に立地する神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅構内店舗において、以下の趣旨に基づき、市民の障がいに対する理解を促し、本市における新たな障がい者就労のモデルとなる事業者を公募した。(公募期間：令和4年8月5日公募資料配付、9月9日提案書受付締切)

- ① その立地に相応しい広く市民に開かれた新たな障がい者就労の場を創出すること
- ② 市内障害福祉サービス等事業所で製作された物品類の販売を行うこと（「神戸ふれあい工房」※の販売所設置）

※【参考】「神戸ふれあい工房」について

神戸市社会福祉協議会が、障害福祉サービス事業所が製作する自主製品（ふれあい商品）を市民へ広く周知し、購入を促すことで障害者の収入増加を図る「ふれあい商品販売促進事業」の一環として運営。令和元年度末まで市役所2号館1階に店舗を設置していたが、建て替えに伴い退去、外商営業のみとなっていた。現在56事業所が参加。令和3年度売り上げ総額は574万円。

(2) 場所

神戸市営地下鉄海岸線 花時計前駅 改札前 (面積：約24.7坪)



(3) 賃貸期間

令和4年11月～令和11年3月31日（最大4年間更新可能）

(4) 選定結果

4法人から応募があり、審査の結果次の法人が店舗運営事業に決定した。

実施事業者：社会福祉法人 みかり会（住所：兵庫県南あわじ市松帆高屋乙192番地）

2. 事業内容

(1) 事業所名

Link tree（就労継続支援B型事業所、カフェ）

(2) 開所日

月曜日～土曜日 8時～20時（ただし、祝日及び12月29日～1月3日を除く）

(3) 定員

20名（午前の部・午後の部・夕方の部の3部制、各6～7名）

(4) オープン予定日

令和5年3月末日

(5) 訓練内容

カフェに来店されたお客様への席案内、オーダー受け付け、準備・片付けなどのホール業務や、料理の仕込み・提供、洗い場、調理場の清掃などの厨房内業務を行う。また、神戸ふれあい工房の商品の陳列や接客対応・販売などを行う。

(6) カフェ営業時間及び提供商品（予定）

神戸の特産物や市内の事業所で収穫された野菜等を使用したメニューを検討する。

① モーニングタイム：8時～11時（卵かけごはん&日替わり味噌汁のセット他）

② ランチタイム：11時～14時（具沢山おにぎり&豚汁他）

③ カフェタイム：11時～20時（ソフトドリンク類）

④ パータイム：16時～20時（おでん等のおつまみ料理と神戸ワイン、地酒等アルコール類等）

(7) 「神戸ふれあい工房」売上促進のための工夫（一部紹介）

①カフェのメニューと組み合わせて、ラインナップに神戸ふれあい工房のお菓子を取り入れる

②色味やラッピングなどをナチュラルテイストで、商品パッケージは、クラフト紙や麻紐等を使用し、店舗との統一感を持たせる

③インスタグラムの開設

そのほか、商品を単に販売するだけではなく購入者の声を事業所へ伝え、より良い商品提供のため必要があれば提案を行う。

3. 事業所が掲げる運営方針

「共生社会の創造」を掲げ、障害福祉について発信する場として、下記の取り組みに努める。

(1) 共生社会の創造の具現化

子育て支援・アートギャラリー等のイベントを開催し、広く出会いの場を創出

(2) 「働きたい」「働いてほしい」と思える職場の提供

ハード面では、デザイン性の高い魅力あふれる店舗の運営に努め、ソフト面では、就労者及び就労者家族との丁寧なコミュニケーションを心掛け、自己決定を尊重した支援に努める

(3) 市内の各事業所との連携、横のつながりの拡大

神戸市社会福祉協議会、各種団体及び事業所と連携、情報共有等を図り、障害福祉のあり方や質の高いサービスについての研究および実践

(4) 次世代の福祉人材を育成する場としての役割

学校と連携し、学生等の若者に障害福祉への関心を持ってもらい、理解促進のきっかけとなるようボランティアの受け入れや様々な分野の体験を通じた福祉教育の推進を図る
プレ実習、インターンシップ、アルバイト等の雇用も視野に入れた仕組みの構築